

七夕



練馬区の石神井公園に区内から移築された旧内田家住宅は、明治20年代初頭のかやぶき屋根民家。練馬の農家には昭和30年頃まで、七夕に茅(チガヤ)で作る「馬」を供える風習があったといい、この七夕飾りが6/25～7/7まで展示された。



七夕の笹竹飾りに、「ちがや馬」と夏野菜を供えて、「五穀豊穡」と「無病息災」を願う。



笹竹の間に荒縄を渡し、雌雄の「ちがや馬」を飾る。「ちがや馬」は区の無形民俗文化財に登録されている。

ラパンアジルの自主調査 七夕・データを公開中

<http://research-lapin.seesaa.net/>

調査実施日:2011年7月11日～7月14日

対象:首都圏在住 20歳以上の男女

Q1 今年の“七夕”に、あなたがしたことについてお答えください。(MA/14項目について、いくつでも回答可)

回答数:719名 (男性360、女性359)

七夕にしたこと

◎<七夕には特に何もしなかった>で、男性(77.2%)が女性(71.0%)より高い。

性別・上位3項目

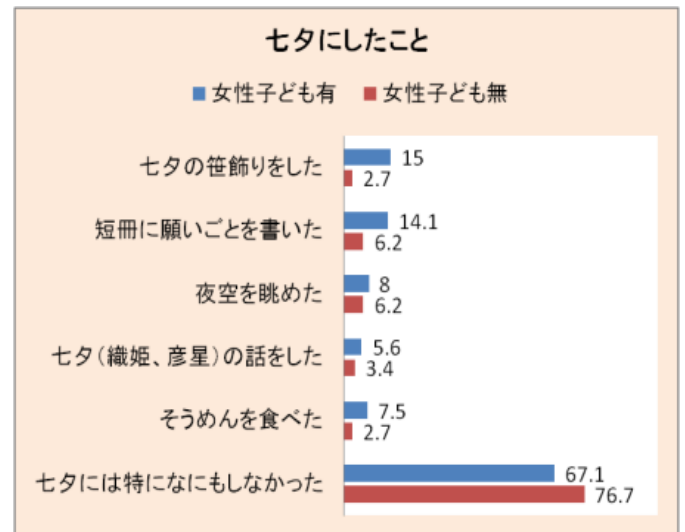
◆<七夕の笹飾りをした>	男性(6.7%)	女性(10%)
◆<短冊に願いごとを書いた>	男性(7.2%)	女性(10.9%)
◆<特になにもしなかった>	男性(77.2%)	女性(71%)

子どもの有無・上位6項目

男女差より、子供の有無による差が大きい。

■女性 子ども有無別 (子ども有 213、子ども無 146)

◎子ども有女性は、子ども無に比べて、<七夕の笹飾りをした>で12%、<短冊に願いごとを書いた>で8%高い。



■男性 子ども有無別 (子ども有 166、子ども無 194)

◎男性も、子供有男性は、子ども無に比べて、七夕実施率が高い。

